

放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け・保護者向け） 実施報告書

令和3年1月29日

社会福祉法人つみき
つみき第6

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、下記のとおり自己評価・保護者からの評価を実施しましたのでご報告いたします。

記

1、実施概要

自己評価表：常勤職員2名・非常勤職員2名を対象に実施。

実施日：令和3年1月29日

保護者向け評価表：利用者保護者11名を対象に実施（有効回答9件）

実施期間：令和2年12月28日～令和3年1月8日

2、評価方法

自己評価表・保護者向け評価表の結果を参考に、意見の多かった点について職員間で討議。

3、公表方法

ホームページにて公表。広報誌『つみき新聞』にてその旨を告知。

4. 主な工夫している点

【設問 10】子どもの適応行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

◎法人で活用しているアセスメントツールが重心児のアセスメントには適していないため、独自でアセスメントツールを作成し、活用している。

【設問 16】支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか

◎終業時間が異なる為、支援終了後に振り返りを行うことは困難だが、職員間で連絡ノートを活用し、情報共有を図っている。

【設問 26】放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

◎近隣の児童館の構造上の都合で車イスの利用児の利用は難しいため、コロナウイルス流行前から児童館の利用は少なかったが、近隣の公園や商店街へ遊びに行く機会は多く持ち、その時偶然居合わせた住民や子供との交流を大切にしている。

5. 主な改善すべき点（改善目標）

【設問 1】利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

◎ほとんどの利用児が車イスを使用し、低緊張などの身体特徴をカバーするために車イスも大型化しており、利用児の組み合わせによっては訓練室内のスペースが狭く感じることもある。コロナウイルスの流行によりソーシャルディスタンスを取ることが推奨されていることもあり、車イスの停車位置を工夫し、窮屈さを感じないよう配慮する。

【設問 2】職員の配置数は適切であるか

◎医療ケア児の来所が多い日は、緊急時に備えあと1・2人職員がいることが望ましい。とくに職員が分かれて動く送迎時に職員数が少なくなることが課題である。

【設問 38】緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

◎マニュアルの存在が職員も保護者にも浸透しておらず、周知の方法について改善する必要がある。保護者は普段目にする機会が無いため、ホームページ上で公開するなどし、誰でも目にするように改善する。

【設問 39】非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか
◎利用児来所中の避難訓練や防災センターの見学の頻度を増やし、全利用児が参加できるように避難訓練を実施する。

以上